



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月1日

上場取引所 東

上場会社名 イーピーエス株式会社

コード番号 4282 URL <http://www.eps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 敵 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 折橋 秀三

TEL 03-5684-7797

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日

平成25年6月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	18,237	5.2	1,741	△36.7	1,638	△37.7	671	△43.2
24年9月期第2四半期	17,342	13.4	2,750	38.4	2,631	32.0	1,182	64.9

(注)包括利益 25年9月期第2四半期 1,505百万円 (△10.8%) 24年9月期第2四半期 1,687百万円 (105.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	3,756.88	—
24年9月期第2四半期	6,612.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年9月期第2四半期	27,306		19,063		61.2
24年9月期	26,647		18,436		58.6

(参考)自己資本 25年9月期第2四半期 16,715百万円 24年9月期 15,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	1,600.00	—	1,900.00	3,500.00
25年9月期	—	1,600.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,600.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年3月31日を基準日として、株式1株を2株に分割したことに伴い、平成25年9月期末の1株当たりの予想配当金は、2,000円から2分の1の1,000円となり、1株当たり配当金予想合計が、2,600円となっておりますが、当初の分割前の1株当たり配当金予想合計は変更していません。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,521	9.4	4,488	△13.3	4,406	△13.5	2,210	0.1	6,179.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成25年9月期(予想)の1株当たり当期純利益につきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	180,800 株	24年9月期	180,800 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	1,974 株	24年9月期	1,974 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	178,826 株	24年9月期2Q	178,826 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、「添付資料」P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
4. 補足情報	15
(1) 生産実績	15
(2) 受注実績	15
(3) 販売実績	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年3月31日）におけるわが国経済は、日銀総裁の交代にともなう金融緩和の拡大から急激な円安、株高など明るい兆しが現れています。しかしながら、政府による成長戦略の施策内容、効果等未だ不透明な状況にあります。こうした中で当社およびグループ会社を取り巻く環境は顧客である製薬会社および医療機器製造販売会社のニーズの多様化、高度化が進み、また、競争激化により厳しさを増しています。

当第2四半期の連結業績においては、売上高でみると、前年同期比 5.2 %の増収、期初予想に対して 4.2 %下回りました。利益面においては、営業利益は、前年同期比 36.7 %の減益となり、期初予想に対して 20.5 %大幅に下回りました。売上高および利益について、主な要因は、国内SMO関連事業および国内CSO関連事業の不振によるものです。

事業セグメント別には次の通りです。

【国内事業】

国内CRO関連事業は、当社を中心に事業を展開しています。国内CRO関連事業における連結売上高は、前年同期と比較して 365 百万円増の 11,341 百万円（同 3.3 %増）、連結営業利益は、366 百万円減の 1,882 百万円（同 16.3 %減）の増収減益となりました。なお、国内CRO関連事業の業績の90%近くを占める当社単体においては、期初予想に対して売上高、営業利益ともに上回りました。

国内SMO関連事業は、株式会社イーピーミントで事業を展開しています。国内SMO関連事業における連結売上高は、前年同期と比較して 88 百万円減の 2,802 百万円（同 3.1 %減）となりました。利益面では、今後の開発動向、新規案件の受注に備え前倒しで増員したことから、売上原価が大幅に増加し、連結営業利益は、302 百万円減の 56 百万円（同 84.2 %減）の大幅な減益となりました。

国内CSO関連事業は、株式会社ファーマネットワークと株式会社メディカルラインにおいて展開しています。国内CSO関連事業は、売上面では、前年同期と比較して 290 百万円減の 2,786 百万円（同 9.4 %減）となり、利益面では、営業利益は 381 百万円減の 32 百万円（同 92.2 %減）で大幅な減益となりました。その要因として、株式会社ファーマネットワークは、MR派遣業務において、競争の激化により案件獲得が想定通り進まず、派遣MRの稼働率が低下したことによるものです。株式会社メディカルラインは、ドラッグ・インフォメーション業務や医薬・医療・ヘルスケア業界向けBPO業務が順調に伸張しましたが、利益面では企業内保育施設の設立費用を負担したため、前年同期と比較して増収減益となりました。

【海外事業】

Global Research 関連事業は、当社のグローバルリサーチ部門と臨床試験に関わる海外グループ会社で構成されています。Global Research 関連事業の連結売上高は、前年同期と比較して 281 百万円増の 811 百万円（同 53.0 %増）の増収となり、連結営業損失は、1 百万円（同 12 百万円の損失）と縮小しました。

中国関連事業は、当社の中国事業部門と益新（中国）有限公司グループで構成されています。中国関連事業の連結売上高は、前年同期と比較して 784 百万円増の 894 百万円（同 711.3 %増）の大幅な増収となり、連結営業損失は、231 百万円（同 262 百万円の損失）と縮小しました。売上増加の主な要因は、2013年1月にグループ会社化した医療機器販売会社である益通（蘇州）医療技術有限公司が好調に販売を伸ばしたことによるものです。

以上の結果、EPSグループ全体の連結売上高は、前年同期と比較して 894 百万円増の 18,237 百万円（同 5.2 %増）となりました。一方、連結営業利益は、1,009 百万円減の 1,741 百万円（同 36.7 %減）となり、連結経常利益は、992 百万円減の 1,638 百万円（同 37.7 %減）、連結四半期純利益は、510 百万円減の 671 百万円（同 43.2 %減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末における総資産は、27,306 百万円と前連結会計年度末から 659 百万円増加しました。

流動資産では、主に現金及び預金が 1,726 百万円、受取手形及び売掛金が 528 百万円それぞれ減少した一方で、商品及び製品が 456 百万円、有価証券が 376 百万円増加したことなどにより、1,286 百万円減少して 19,256 百万円となりました。固定資産では、主として有形固定資産が 445 百万円、のれんが 517 百万円、投資有価証券が 826 百万円それぞれ増加したことなどにより 1,946 百万円増加して 8,050 百万円となりました。

負債の部においては、主として買掛金が 384 百万円、短期借入金が 915 百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が 796 百万円、賞与引当金が 199 百万円、その他の流動負債が 214 百万円それぞれ減少したことなどにより、当四半期末における負債合計は 8,243 百万円と 32 百万円増加しました。

純資産の部では、主に利益剰余金が 332 百万円、為替換算調整勘定が 714 百万円それぞれ増加した一方で、少数株主持分が 480 百万円減少したことなどにより、当四半期末における純資産の部は 627 百万円増加して 19,063 百万円となりました。

キャッシュ・フロー状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が 1,453 百万円となり、売上債権の減少が 578 百万円あった一方で、たな卸資産の増加が 295 百万円、法人税等の支払による支出が 1,405 百万円あったことなどにより 358 百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比 1,721 百万円減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に有形及び無形固定資産の取得による支出を 406 百万円、投資有価証券の取得による支出を 911 百万円、子会社株式追加取得による支出を 602 百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出を 565 百万円それぞれ行ったことなどの結果、2,525 百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比 1,490 百万円増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に短期借入金の実行で 2,780 百万円の収入があった一方で、長期及び短期借入金の返済を 1,915 百万円、株主及び少数株主に対する配当金の支払を 396 百万円行ったことなどにより、457 百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は 719 百万円の支出）となりました。

以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は 9,310 百万円（前年同四半期連結累計期間比 209 百万円増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期通期の売上高については、前年同期と比較して9.4%増収の見込みですが、利益面では、国内SMO関連事業および国内CSO関連事業の利益が大幅に落ち込むことにより当初予想を下回る見通しです。グループ全体で、人員(リソース)の流動化を進め、労務費・経費等の削減に取り組んでいますが、期初業績予想と乖離が生じる見通しとなり、2013年4月26日付けで業績予想を修正しました。

事業セグメント別にみると、国内CRO関連事業は、売上高では、前年同期と比較して5%の増収となり、利益面でも増益となる見通しです。

国内SMO関連事業は、売上面では、前期並みの水準となる見通しですが、利益面では、第2四半期連結累計期間の不振の影響で通期においても大幅な減益となる見通しです。しかし減益要因の新拠点開設や渉外担当の増員は、今後の売上利益に貢献することから収益力が向上する見通しです。

国内CSO関連事業は、売上面では、前期並みの水準となる見通しです。利益面では、収益拡大に向け営業力強化、人員の採用に注力していることから、売上原価が増加し、大幅な減益となる見通しです。

国内SMO関連事業および国内CSO関連事業において、先行投資的費用が増加していますが、来期の成長に繋がる投資として寄与できるよう取り組んでいく予定です。

Global Research関連事業は、順調に推移し業績が拡大する見通しです。

中国関連事業は、益通(蘇州)医療技術有限公司が引き続き伸張すると予想されることから、順調に業績が拡大する見通しです。

なお、国内SMO関連事業における株式会社総合臨床ホールディングスとの資本・業務提携(2013年3月7日発表)に加え、下期から来期に向けてEPSグループの事業力強化の為、以下の4つの事業体制の再構築を図ります。

① 国内CRO関連事業

顧客である製薬会社および医療機器製造販売会社の研究開発への効率化ニーズに応えるため、山梨県にデータマネジメント業務を受託する株式会社イーピーエス山梨を設立すると共に、サテライトオフィスを開設しました。これにより、当社は、データマネジメント業務および統計解析業務の効率化を図り、価格競争力を強化し、サービスの充実を図ります。

② 国内CSO関連事業

顧客である製薬会社および医療機器製造販売会社の販売コストの低減ニーズ、アウトソーシング率の増加に対応するため株式会社ファーマネットワークと株式会社メディカルラインとを2013年10月1日(予定)付けで合併します。これにより規模を拡大し、両社の強みや特徴を活かし既存サービスの強化と新たなサービスの創造を図り、競争力を強化します。

③ Global Research関連事業

当社内カンパニーであるグローバルリサーチカンパニーを2013年7月1日（予定）付けで分社化することにより、海外のCRO事業とSMO事業を統括する機能強化および顧客の多様なニーズへの対応を図ります。

④ 中国関連事業

当社中国事業本部の分社化により中国事業の統括会社を2013年7月1日（予定）付けで設立することにより、益新（中国）有限公司グループとの連携強化を図り、中国事業に関する既存のビジネス強化と多様なビジネスチャンスに対応する事業体制を構築します。

これらにより平成25年9月期通期の連結業績見通しは、2013年4月26日に発表した予想数値を変更しません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,576,625	8,850,087
受取手形及び売掛金	7,320,867	6,792,422
有価証券	100,016	476,049
商品及び製品	415,319	871,883
仕掛品	506,388	542,442
その他	1,628,172	1,728,554
貸倒引当金	△4,050	△4,873
流動資産合計	20,543,338	19,256,567
固定資産		
有形固定資産	1,881,401	2,326,835
無形固定資産		
のれん	479,484	996,710
その他	334,763	417,320
無形固定資産合計	814,248	1,414,030
投資その他の資産		
投資有価証券	587,383	1,413,969
敷金及び保証金	1,287,155	1,311,014
その他	1,533,884	1,584,335
投資その他の資産合計	3,408,423	4,309,319
固定資産合計	6,104,074	8,050,185
資産合計	26,647,412	27,306,752
負債の部		
流動負債		
買掛金	252,027	636,167
短期借入金	15,000	930,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,455,156	659,151
賞与引当金	1,094,398	894,633
受注損失引当金	108,000	16,000
その他	3,292,666	3,078,190
流動負債合計	6,317,248	6,314,143
固定負債		
長期借入金	800,000	750,000
退職給付引当金	515,997	583,182
役員退職慰労引当金	241,664	260,969
資産除去債務	274,805	307,298
その他	61,355	27,726
固定負債合計	1,893,822	1,929,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債合計	8,211,071	8,243,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,251	1,875,251
資本剰余金	1,826,300	1,826,300
利益剰余金	12,401,651	12,733,710
自己株式	△317,258	△317,258
株主資本合計	15,785,945	16,118,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△57,555	3,029
為替換算調整勘定	△120,366	594,387
その他の包括利益累計額合計	△177,921	597,416
少数株主持分	2,828,317	2,348,010
純資産合計	18,436,341	19,063,431
負債純資産合計	26,647,412	27,306,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	17,342,947	18,237,294
売上原価	11,295,534	13,116,979
売上総利益	6,047,412	5,120,314
販売費及び一般管理費	3,296,522	3,378,925
営業利益	2,750,890	1,741,389
営業外収益		
受取利息	4,179	10,786
保険解約益	12,512	19,192
補助金収入	—	17,407
その他	15,863	29,789
営業外収益合計	32,556	77,175
営業外費用		
支払利息	13,468	11,415
為替差損	118,839	140,025
その他	19,584	28,480
営業外費用合計	151,892	179,921
経常利益	2,631,554	1,638,643
特別利益		
投資有価証券売却益	6,171	50,996
補助金収入	62,845	—
特別利益合計	69,016	50,996
特別損失		
投資有価証券評価損	2,951	161,962
システム開発中止に伴う損失	61,413	—
事業構造改革費用	—	74,108
特別損失合計	64,364	236,071
税金等調整前四半期純利益	2,636,206	1,453,568
法人税、住民税及び事業税	1,295,992	615,035
法人税等調整額	△49,112	192,791
法人税等合計	1,246,880	807,827
少数株主損益調整前四半期純利益	1,389,326	645,741
少数株主利益	206,776	△26,086
四半期純利益	1,182,549	671,828

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,389,326	645,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,700	60,584
為替換算調整勘定	236,411	787,737
持分法適用会社に対する持分相当額	6,876	11,737
その他の包括利益合計	297,988	860,059
四半期包括利益	1,687,315	1,505,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,471,798	1,447,166
少数株主に係る四半期包括利益	215,516	58,634

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,636,206	1,453,568
減価償却費	141,240	172,542
のれん償却額	101,185	105,233
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,028	△205,836
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,072	67,184
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△43,495	19,305
受取利息及び受取配当金	△5,529	△12,742
支払利息	13,468	11,415
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,171	△50,996
投資有価証券評価損益(△は益)	△2,951	161,962
売上債権の増減額(△は増加)	116,614	578,970
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151,543	△295,104
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,727	63,770
その他の流動負債の増減額(△は減少)	794,820	△343,152
その他	△113,510	36,089
小計	3,393,653	1,762,211
利息及び配当金の受取額	5,486	12,536
利息の支払額	△14,480	△11,433
法人税等の支払額	△1,305,069	△1,405,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,079,589	358,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△495,791	△14,869
定期預金の払戻による収入	12,610	14,627
有形固定資産の取得による支出	△504,644	△282,757
無形固定資産の取得による支出	△38,654	△123,282
投資有価証券の取得による支出	△6,220	△911,956
敷金及び保証金の差入による支出	△31,500	△91,209
子会社株式の取得による支出	△2,985	△602,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△565,642
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	29,309	—
その他	3,041	51,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,034,833	△2,525,565

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,198,000	2,780,000
短期借入金の返済による支出	△1,497,221	△1,865,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
少数株主からの払込みによる収入	26,900	—
配当金の支払額	△339,337	△339,794
少数株主への配当金の支払額	△47,977	△56,929
その他	△9,537	△10,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	△719,172	457,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	146,951	356,399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	472,534	△1,353,699
現金及び現金同等物の期首残高	8,627,744	10,663,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,100,279	9,310,117

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額(注) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	国内CRO 関連事業 (千円)	国内SMO 関連事業 (千円)	国内CSO 関連事業 (千円)	Global Research 関連事業 (千円)	中国関連 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	10,876,152	2,891,772	3,062,464	487,795	24,762	17,342,947		17,342,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99,511	—	15,248	42,439	85,464	242,663	(242,663)	—
計	10,975,663	2,891,772	3,077,712	530,234	110,226	17,585,610	(242,663)	17,342,947
セグメント利益	2,248,556	359,193	413,517	(12,063)	(262,801)	2,746,402	4,488	2,750,890

(注) セグメント利益の調整額 4,488 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額(注) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	国内CRO 関連事業 (千円)	国内SMO 関連事業 (千円)	国内CSO 関連事業 (千円)	Global Research 関連事業 (千円)	中国関連 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,126,348	2,800,579	2,754,845	755,170	800,350	18,237,294		18,237,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	214,746	2,230	32,040	56,124	93,919	399,059	(399,059)	—
計	11,341,095	2,802,809	2,786,885	811,294	894,269	18,636,354	(399,059)	18,237,294
セグメント利益	1,882,240	56,703	32,375	(1,611)	(231,113)	1,738,593	2,795	1,741,389

(注) セグメント利益の調整額 2,795 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

近年、製薬会社のグローバル開発に対応するため、アジアの治験実施体制を強化するとともに、欧米各国での治験実施可能な体制へと一体的に推進していくことを目指して、当社内に Global Research Company部門を設立しています。また、中国での事業基盤を確立することを主眼において、本部機能を強化し、中国国内での医薬事業、ヘルスケア事業及びBPO(Business Process Outsourcing)事業をそれぞれ効率的に進めることを目的として、当社内に中国事業部門を設立しました。

一方、IT関連事業においては、EDC(Electronic Data Capturing)を中心とした医薬・医療系IT事業に特化しており、国内CRO関連事業と密接な連携関係を保ちつつ、多様化したサービスを提供しています。

このような業容が拡大、変化していく環境の中で、業容に見合った管理体制を構築する目的から、当社グループ内での資本構成等事業再編を行い、「Global Research関連事業」・「中国関連事業」の独立した定期的な業績を集計する体制を整えました。

そのため、第1四半期連結会計期間より、従来の「CRO関連事業」に含まれていた「Global Research 関連事業」及び「中国関連事業」を独立セグメントとして認識し、IT関連事業を国内関連業務と中国関連業務に区分した上で、報告セグメントを「CRO関連事業」、「SMO関連事業」、「CSO関連事業」、「IT関連事業」の4区分から、「国内CRO関連事業」、「国内SMO関連事業」、「国内CSO関連事業」、「Global Research関連事業」、「中国関連事業」の5区分に変更しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日) (千円)	前年同期比(%)
国内CRO関連事業		
モニタリング業務	5,492,937	104.7
データマネジメント業務	4,359,889	100.5
CROその他業務	1,346,654	91.7
国内CRO関連事業計	11,199,480	101.3
国内SMO関連事業	2,800,745	96.9
国内CSO関連事業	2,754,845	90.1
Global Research 関連事業	679,298	128.5
中国関連事業	798,425	2,137.6
合計		103.8

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(2) 受注実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
国内CRO関連事業				
モニタリング業務	6,935,227	116.5	16,410,053	107.9
データマネジメント業務	3,989,835	95.1	12,751,503	94.3
CROその他業務	2,300,653	141.0	2,114,200	167.7
国内CRO関連事業計	13,225,716	112.2	31,275,758	104.3
国内SMO関連事業	1,952,005	48.1	6,775,666	88.5
国内CSO関連事業	3,001,551	120.2	4,046,136	110.4
Global Research 関連事業	1,139,382	289.8	2,780,918	100.5
中国関連事業	748,883	2,937.1	113,832	88.4
合計	20,067,538	107.0	44,992,312	101.8

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(3) 販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日) (千円)	前年同期比(%)
国内CRO関連事業		
モニタリング業務	5,492,937	104.7
データマネジメント業務	4,250,324	102.1
CROその他業務	1,383,086	94.3
国内CRO関連事業計	11,126,348	102.3
国内SMO関連事業	2,800,579	96.8
国内CSO関連事業	2,754,845	90.0
Global Research 関連事業	755,170	154.8
中国関連事業	800,350	3,232.1
合計	18,237,294	105.2

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれていません。